

祝「あんげろす」第50回発行

播本秀史

今回で「あんげろす」は、ちょうど第50号の発行となります。1992年4月に創刊号が出されています。年3回の発行で17年間の月日が流れました。

創刊号の表紙の「あんげろす」という題字は、当時のキリスト教研究所前所長の澁谷浩先生の揮毫によるもので、これは現在まで続いています。巻頭言は、加山久夫先生（現名誉所員・名誉教授）が書かれています。「『アングロス』（メッセンジャー、天使）とは『エウ・アングリオン』（福音）と同根の言葉」とあります。ページをめくると、「所長就任にあたって」という中山弘正先生、「『あんげろす』発刊にあたって」という澁谷浩先生（当時の前所長）、「研究所プロジェクトについて」という水落健治先生（当時の主任）の文章が見られます。

澁谷先生によれば、この「あんげろす」の刊行は「中山弘正所長の創意による新しい試み」であり、「所員相互の理解と共感のため」と「研究所の外に向かって研究所そのものが自己紹介する」ためである、とあります。

第50号を機に、過去の「あんげろす」にも少し目を通しました。先輩の諸先生方のお働きを目の当たりにし、まず、感謝の意を表させていただきます。また、現在の私たちの課題を発見するヒントも与えられました。

たとえば、先日の所員会議で、現行のプロジェクトとは異なる、各プロジェクトを横断するようなプロジェクトをつくり、そのプロジェクトは2、3年後に成果を出版するという方向性が確認されました。それも、「あんげろす」を通して、教えられたもののひとつです。

キリスト教研究所、ならびに各所員・各客員研究員・各協力研究員の、今の歩みは、この「あんげろす」に記されていきます。

どうぞ、今後とも「あんげろす」をよろしくお願い申し上げます。

（はりもと・ひでし 所長、本学文学部教授）

